

食育ってなあに？

私たちが心身ともに健やかで、生涯にわたり、いきいきと暮らすためには、何よりも「食」が大切です。しかし、ライフスタイルの多様化や食の多様化が進み、朝ごはんの欠食や孤食、伝統的な食文化の衰退、食の生産現場と食卓の乖離、食の安全の確保など、食をめぐる様々な問題が生じています。

これらの解決に向け、私たち1人ひとりが食べることを意味を理解し、自らの健康を自分で守り、豊かな食生活を営むことが出来る能力を育むことが「食育」です。

「食育・地産地消」×SDGs

県では、第4次食育推進計画を策定し、家庭から学校、職場を含めた地域の中で、生涯を通じた切れ目のない取り組みを推進しています。食育の取組には「地産地消の推進」「食品ロスの削減」「エシカル消費の推進」など、2015年に国連で採択された、「2030年までに達成をめざす17の持続可能な開発目標（SDGs）」と関係が深いものがあり、SDGsの達成に向けて、食育の推進が果たす役割に期待が寄せられています。

地域で育てた農産物や地域の海で獲れた水産物を、その地域で消費する地産地消の取組は、地域経済の活性化や、運搬によって発生するCO₂の削減（フードマイレージの削減）など、持続可能な地域社会の構築につながります。

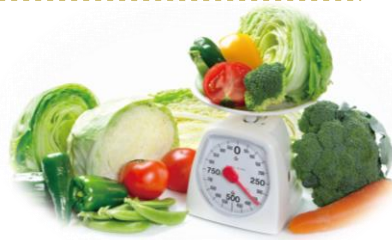
地域の農林水産物や食文化への理解を深め、私たち一人一人が地域の生産物や環境に配慮した食品を意識して選ぶことで、持続可能な社会の構築を目指しましょう。



野菜を食べよう！1日350g！

三重県民の1日平均野菜摂取量は274gで、摂取目標量350gに対して約80g不足しています。これは、野菜を主材料としたおひたしやサラダ等の副菜なら約1皿に相当します。野菜不足は栄養バランスの偏りや生活習慣病などの観点からも問題となっています。

日頃からあと1皿多く野菜を食べる習慣を身につけましょう。



三重県の制度のご紹介

「三重とこわか健康経営カンパニー（ホワイトみえ）」認定制度

三重県では、多くの県民の皆さんが一日の大半を過ごす職場での健康づくりが重要であることから、企業における主体的な健康経営®（※）の取組を推進するため、「三重とこわか健康経営カンパニー（ホワイトみえ）」認定制度を設けています。

認定企業の取組のうち、特に優れていると認められる取組について「三重とこわか健康経営大賞」として表彰を行っています。（※「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です）



詳しくはこちら▶



【担当】

三重県医療保健部 健康推進課

ホワイトみえ

検索

連絡先（みえの地産地消・食育推進モデル事業）

三重県農林水産部フードイノベーション課 TEL:059-224-2395 Email : foods@pref.mie.lg.jp



2024年度

みえの地産地消・食育推進モデル事業

～ 社食で生産者応援・地産地消を進めよう！ ～

三重県

協力：三重労使雇用支援機構（三重県経営者協会、連合三重）
住友電装株式会社

みえの地産地消・食育推進モデル事業とは

三重県は南北に長く温暖な気候や変化に富んだ海域に恵まれており、多種多様な農林水産物が生産されています。そのような中、三重県では「地物一番」の取組を通じた地産地消を推進しています。また、多くの県民の皆さんが、一日のうち多くの時間を過ごす職場における健康の保持・増進に向けた「健康経営®」の取組が重要です。

みえの地産地消・食育推進モデル事業では、県産食材の新たな販路開拓・消費拡大による地域社会への貢献と企業の健康経営の推進を目的として、県内事業所の社員食堂等において、県産食材を使用したメニューの提供や従業員の健康づくりに寄与する食育の実施に向けた取組を推進しています。

※「健康経営®」は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。
「健康経営®」とは、従業員の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えのもと、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することです。

事業紹介
ページ▶



地物一番とは

地産地消運動※1から生まれた「地物一番」。

- ・三重県産品を改めて見直し、オンリーワンという誇りを持てるよう、生産者も消費者も意識して県産品に向き合うこと
- ・四季を感じ豊かな心を育むためには、身近な地元の旬な食材が一番
- ・生産者と消費者の結びつきを強めて食に対する安心感を再構築していくためには地元食材が一番



様々な地元が一番という思いを込めた「地物一番」のキャッチフレーズやシンボルマークを目印に、協賛事業者の皆さんの協力のもと、県産品をクローズアップする取組を展開しています。

※1 地域で生産された農林水産物や農林水産業に由来するサービスを地域で消費・享受することを通じて、地域の住民が自らの生活、地域のあり方等について見直そうとする運動

※2 家庭の日（毎月 第3日曜日）とその前日の土曜日を「みえ地物一番の日」として設定

詳しくは
こちら▶



地物一番

検索

2024年度の取組紹介 「住友電装株式会社」

住友電装株式会社の協力のもと、従業員食堂での県産食材の消費拡大および、地産地消を切り口とした食育啓発の取組と、健康支援イベントでの食育・地産地消啓発として実施した取組を紹介します。

県下一体となって取り組む健康支援 住友電装株式会社では、従業員の健康保持・推進の取組に力を入れており、従業員が楽しみながら健康意識を高めることができるイベントを毎年実施しています。三重県内には複数の事業所があり、従業員食堂は3社の食堂事業者が運営していますが、すべての事業所・食堂が連携し、一体となって取組を展開しています。

「PEARLSフェア」で健康×食育×地産地消！

「PEARLSフェア」は、従業員食堂で実施しているイベントで、会社がCSR活動の一環として支援を行っている、三重女子ラグビーチーム「PEARLS（パールズ）」とコラボし、食を通して健康意識を高めてもらえるよう、従業員でもあるPEARLS選手が監修したヘルシーメニューを提供するイベントです。

今年は当モデル事業と連携した取組として、約1か月のフェア期間中、各食堂が工夫を凝らし、県産食材を取り入れたヘルシーメニューの提供や、使用した県産食材を手作りのPOPやポスターで紹介するなど、健康意識の向上とともに、地域の食材への理解・関心を深めてもらう取組として実施していただきました。



POPやポスターなどへの「地物一番」マークの活用で地産地消をPR▲



POPでの県産食材紹介▼▶



食べる社会貢献

一部の食堂において、低利用食材である魚「アイゴ」をメニューに使用していただきました。

海の生態系のバランスを保つ役割を持つ藻場（海藻群落）の減少が急速に進んでいること、藻を食べる魚であるアイゴの増加が原因の1つであり、そのアイゴを食べることで環境保護に貢献できることをパネルや卓上POPを設置して紹介しました。

料理の近くにパネルを掲示▶



健康支援イベントで食育

「健康フェスティバル」は従業員に健康への関心を深めてもらうために、住友電装株式会社が県内主要事業所で実施している体験型イベントです。

今年は、当モデル事業の一環として、県からも出展させていただき、従業員の皆さんに、三重県を代表するお茶であるかぶせ茶・深蒸し煎茶の飲み比べで違いを体験してもらうとともに、地元の特産品である伊勢茶への理解・関心を深めていただきました。



2021～2023年度の取組紹介

過去に実施した取組をリーフレットにまとめて掲載していますので、ぜひご覧ください。

従業者への食育の取組拡大中！

当モデル事業では、下記の事業者様に取組を実施していただき、取組モデルとしてご紹介しています。

- ・2021年度「キオクシア株式会社四日市工場」
- ・2022年度「古河電気工業株式会社 三重事業所」
- ・2023年度「マクセルクレハ株式会社」



お米の産地表示に関して
9月より下記産地のお米を使用いたします。



各取組をまとめたリーフレットはこちら▶



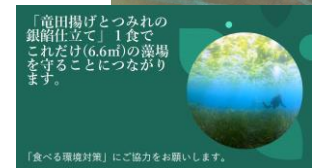
三重県庁食堂での取組の紹介 （食堂運営：株式会社 魚国総本社）

三重県庁の食堂においても、地産地消と食育を一体とした食育イベントを実施しました。

食べる環境対策と食育啓発

県庁食堂においても、「アイゴ」を使用したメニューを提供しました。

また、卓上POPの設置や、1食分で保護できる藻場の面積を床に展示して紹介するなどし、海で起きている問題を知ってもらうとともに、食べることが環境対策になることを体感してもらいました。



三重県の食育啓発資材の活用

県から食育啓発資材を提供し、「地物一番」のポスター等を掲示で県産食材の使用をPRしたり、県産の農林水産物や食育に関する卓上POPを食堂の机に設置、食育に関する動画を食堂のモニターで放映したりするなど、食育に関する啓発活動を実施しました。



▲卓上POP

食育クイズ（動画）▶



食堂事業者より

従業員の皆様のお声を聴きながら、満足いただける食堂運営を心掛けています。今後も、食育・地産地消に取り組むことで、地域へ貢献するとともに、従業員の皆様の健康づくりをお手伝いしていきたいと思っております。



住友電装株式会社より

従業員が明るく健康で働くことができるよう、様々な取組を会社全体で進めています。

これからも、食堂事業者様とも連携しながら地産地消や健康推進活動を進め、食を通して地域社会や従業員の健康づくりによりいっそう貢献できるよう、取り組んでまいります。



三重県庁からのお知らせ

三重県では、「第4次三重県食育推進計画」において、「生活」「地域」「社会」における、生涯を通じた途切れない食育の実施を掲げており、職場における従業員等の健康に配慮した食育の推進に向けて取り組んでいます。

PR資材の提供や県産食材の仕入れ先となる事業者を紹介させていただきますので、ご希望があれば下記連絡先までご連絡ください。

連絡先 三重県農林水産部フードイノベーション課
TEL：059-224-2395 Email：foods@pref.mie.lg.jp

